

# Fresh Talk

～ フレッシュトーク ～

石井牧場 (町公認キャラクターデザイン作者)

## まつもと はるみ 松本 春美 さん



↑キャラクターデザイン作者への記念品授与式

「いづれは北海道に上陸しよう」埼玉県出身の松本さんが群馬県、沖縄県を経て北海道に来たのは昨年のことです。酪農業に興味があり、流氷が見られるところ、そして何よりも自然や動物に囲まれた場所を求めてたどり着いたのが雄武町でした。

牧場に勤めている松本さんの主な仕事は乳牛の飼育です。「給餌と汚れた場所の掃除、搾乳を担当しています。牧場主さんは自分の牛舎で種付けした子牛を、外に預けることなく育てているんです。その家庭的な環境のためか、穏やかな牛が多いですよ」と教えてくれました。

「とにかく動物が好きなので、朝出勤して牛の顔を見るだけで嬉しいです。この牧場は牛との距離が近く、じっくり牛の表情を見ながら健康管理ができます。とても牛を大切にしているのがよく分かります」と笑顔を見せます。「生命を預かっている仕事

であり、生産者であるということに常にやりがいを感じています。また従業員として、牧場の作業だけではなく、牧場主さんとそのご家族の幸せも後押しできるようなりたいです」

「趣味はお茶を飲みながら飼っている猫と日向ぼっこをしたり、浜辺を歩いたりします。特に沖縄で拾った猫は、癒しを毎日与えてくれます」と公私すべてが動物に囲まれている様子。そんな松本さんの性格は「のんびり、のびのびとしていて、明るいほうだと思います。獨創性には自信があります」と教えてくれました。

「将来的にも動物に囲まれて生活がしたいです」と明るく話す松本さん。インタビュアの最後にはこう語ってくれました。「空が大きく見えて、木々が生え、鳥や虫が鳴いて、風が吹いて、太陽の光が差している。たくさんの自然に囲まれた雄武町に住めることが、何よりも幸せです」

### 雄武町民憲章 (町民の誓い)

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

▼ 3月には沢木小学校の卒業証書授与式の取材に行きました。全校合唱曲「旅立ちの日に」が私の小学校の卒業式と同じ曲で、取材でお邪魔しただけの私もうるうるしてしまいました。春は別れもありますが、新たなスタートの季節ですね。私も初心を忘れず心機一転頑張りたいと思います。(大辻)

#### ◆編集後記

### Editor's note

▼次号から担当が変わります。2年間という短期間でしたが、久しぶりの広報紙には手を焼きつつも、情報を伝える作業はとても楽しいものでした。次は議会広報紙の担当となります。場所は変わりますが、広報紙がいつでも皆さまの架け橋になるよう心がけながら頑張ります。(内宮)